

ETC 導入率 60.6%、うち 13.3%は 2009 年に導入
高速道路割引を使ったドライブ旅行、45.4%が予定あり
ゴールデンウィークは、高速道路利用が大幅増加の見込み

<http://kakaku.com/research/backnumber029.html>

株式会社カカコムが運営する購買支援サイト「価格.com (<http://kakaku.com/>)」が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第29回調査『ETC最新事情！—どのくらい利用している?—』から、結果を一部抜粋の上、ご案内します。3月に成立した「平成20年度第2次補正予算」に含まれる「高速道路料金の大幅引き下げ」により、一気に注目を集めた「ETC車載器」。価格.comでは、設置状況や利用頻度、高速道路料金の割引制度を利用するかどうかなどを調査しました。

【調査方法・ユーザーパネルについて】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査 回答者数：11,532 人

男女比率：男 89.6%：女 10.4% 調査期間：2009年4月9日～2009年4月15日

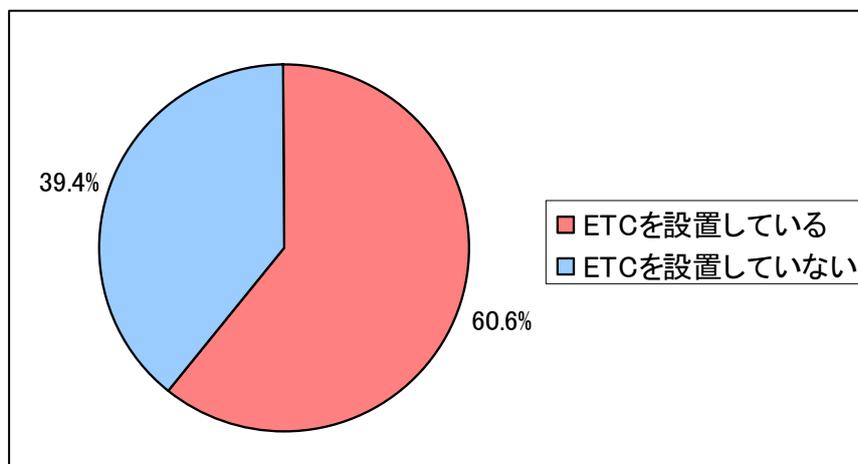
調査実施機関：株式会社カカコム

ETC 車載器の普及率は 60.6% !

全体の ETC 車載器普及率は 60.6%。この数字は、今回の回答者が所有する自動車の「全台数」に対する「ETC 設置数」の割合になる。国土交通省が発表している全自動車の登録数と ETC のセットアップ台数の割合で見ると、全国平均はおおよそ 40%程度となる（※1）。これに比べると、価格.com ユーザーの ETC 普及率は 60.6%と、かなり高い結果に。

なお、世帯単位での自動車の所有台数ごとに、ETC 車載器を何台搭載しているかを見ると、自動車を 1 台のみ所有している世帯の ETC 搭載率は 74.7%で、回答者の 4 分の 3 がすでに ETC 車載器を導入していることになる。ちなみにこの数値は、財団法人道路システム高度化推進機構が発表している、「高速道路での ETC 利用率」（※2）79.0%とほぼ一致する。ふだんよく高速道路を利用する自動車に関しては、すでに 75%程度 ETC 導入が進んでいると見てよいだろう。

【所有する自動車への ETC 車載機の設置状況（全体集計）】



【自動車の所有台数別の集計結果】

次のURLで確認いただけます <http://kakaku.com/research/backnumber029.html>

※1 2009年2月現在：財団法人 道路システム高度化推進機構発表のETC車載器セットアップ件数
(<http://www.go-etc.jp/fukyu/fukyu.html>)

2008年12月末現在：財団法人 自動車検査登録情報協会発表資料
(<http://www.airia.or.jp/number/index.html>) より

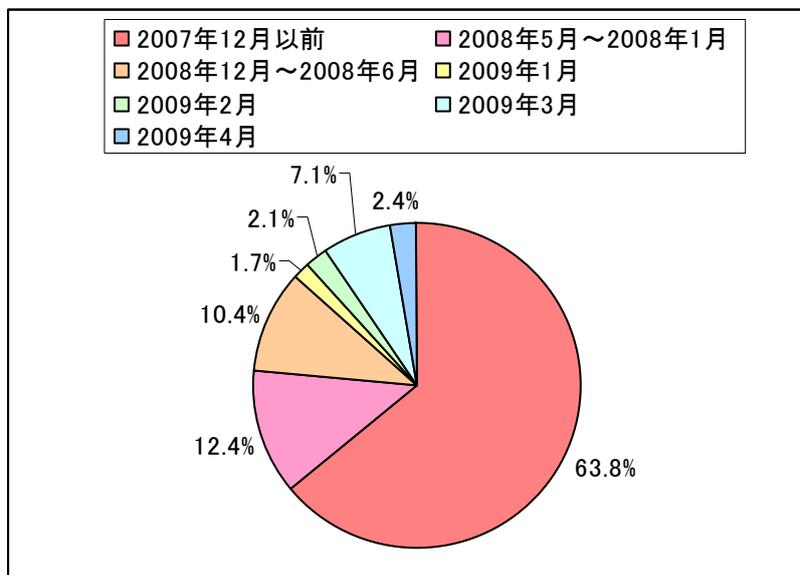
※2 2009年4月9日現在：財団法人道路システム高度化推進機構発表資料
 (<http://www.mlit.go.jp/road/yuryo/riyou.pdf>) より

購入時期：今年に入ってから13.3%の回答者が設置、3月の補正予算可決後に急増

ETC車載器を取り付けている回答者の購入時期で、もっとも多かったのは、「2007年12月以前」で63.8%が、2007年末までにETC車載器を取り付けていたことになる。また、昨年2008年の1年間に取り付けた回答者も22.8%となり、いわゆる「高速道路1,000円」の施策が盛り込まれた2008年度第二次補正予算が話題となる以前に、86.6%の方がETC車載器をすでに取り付け済だったことになる。

2009年に入ってから、補正予算案が可決される以前の1・2月では1~2%台と低いが、補正予算可決後の3月には急激に伸び、7.1%の回答者が3月にETC車載器を取り付けている。本調査が行われていた4月半ばまでの期間で見ると、13.3%となり、この3か月程度で、昨年の半年分以上の取り付け実績が上がっていることになる。「高速道路1,000円」の施策の影響が大きく現れているようだ。

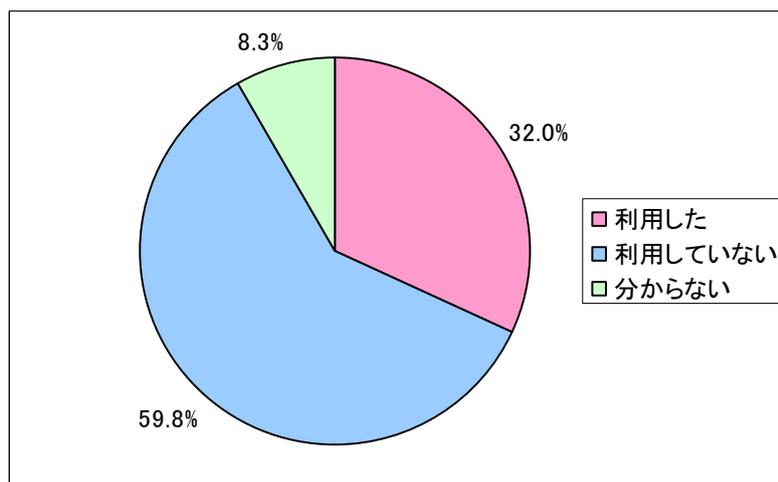
【ETC車載機をいつ購入されましたか？】



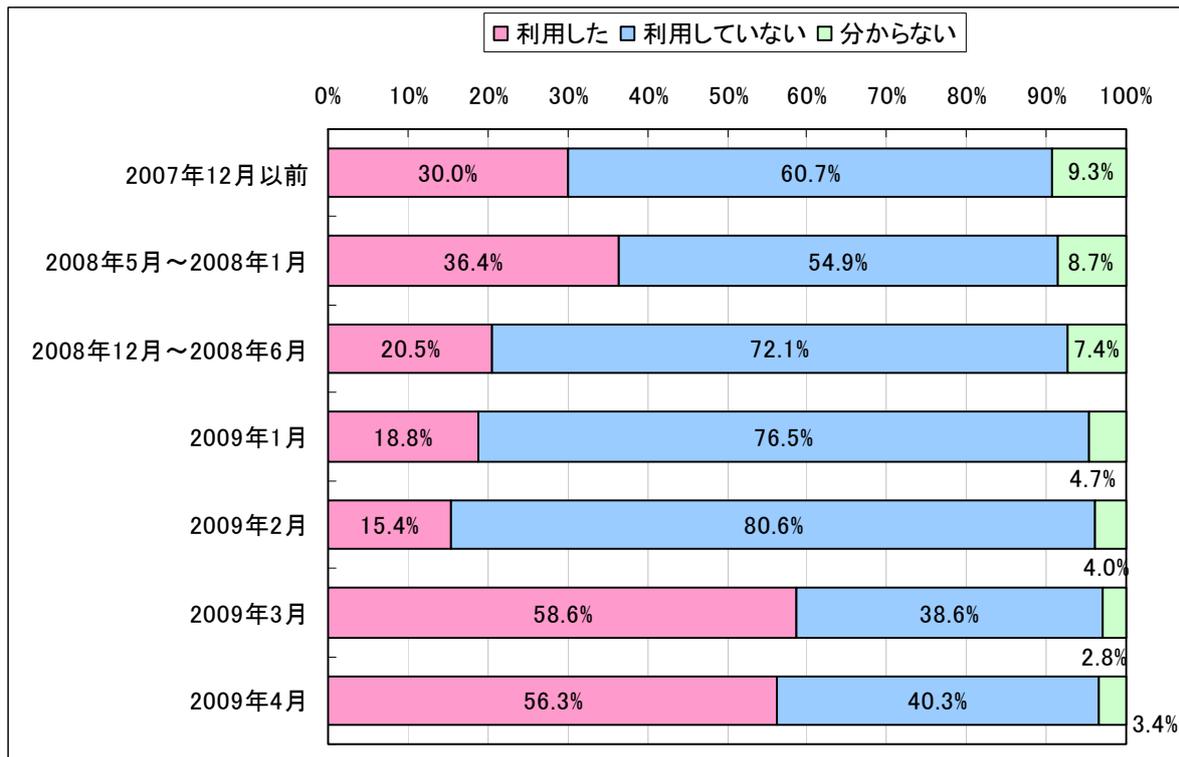
ETC導入助成制度利用の有無：今年3月、4月の購入者では50%を超える

ETC車載器取り付けの際に、何らかの助成制度を利用したかどうかを聞いた。ETC車載器の導入助成制度は、以前から高速道路法人などによって継続的に行われてきたが、今年3月の第二次補正予算の可決後にも、緊急的に導入助成制度が用意され、本調査の結果からも、それを利用したユーザーの数が急増した様子が見て取れる。全体で平均すると、助成制度の利用率は32%であるが、2009年の3~4月に関してみる限り、両月とも50%を軽く超える利用率となっており、この3月、4月にETC導入助成制度が広く利用されたことを示している。

【ETC車載機を購入する際に、高速道路交流推進財団のETC車載器新規導入助成制度を利用しましたか？】



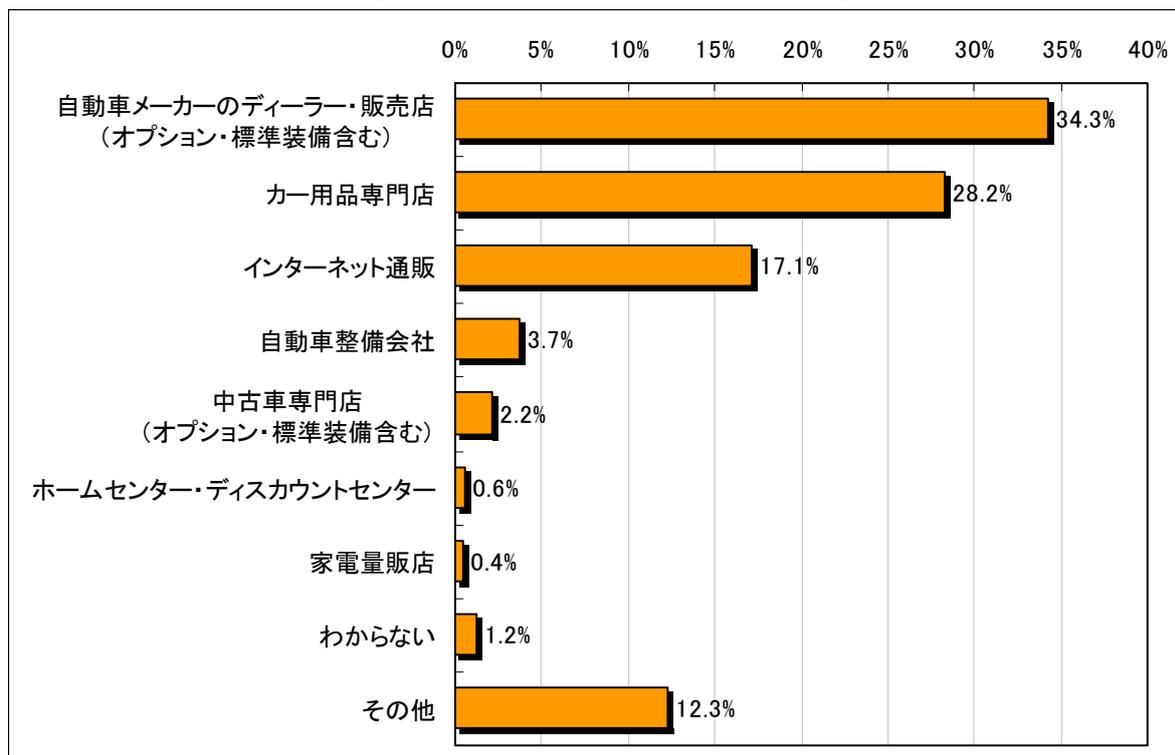
【購入時期別集計】



**ETC 車載器の購入先：「自動車メーカーのディーラー・販売店」34.3%
次いで「カー用品専門店」28.2%、「インターネット通販」17.1%**

ETC 車載器を購入先・取り付け先として、もっとも多かったのは、「自動車メーカーのディーラー・販売店」で、回答者のおよそ 3 分の 1 が、いつも利用しているディーラーなどで取り付けられている様子がうかがえる。続いて多いのが「カー用品専門店」(28.2%)。製品自体が安く売られているほか、取り付け工賃が無料になるなどのケースが多く、工賃込みでも 10,000 円程度という安値をつける店もあり、人気を呼んでいるようだ。その一方で、「インターネット通販」という回答も 17.1%と比較的多い結果となった。ETC 車載器取り付けには、お店による「セットアップ」という作業と、実際取り付け作業の 2 つが必要となるため、通販での ETC 車載器購入はややハードルが高いのだが、一定数が通販を利用して ETC 車載器を購入している実態が明らかになった。

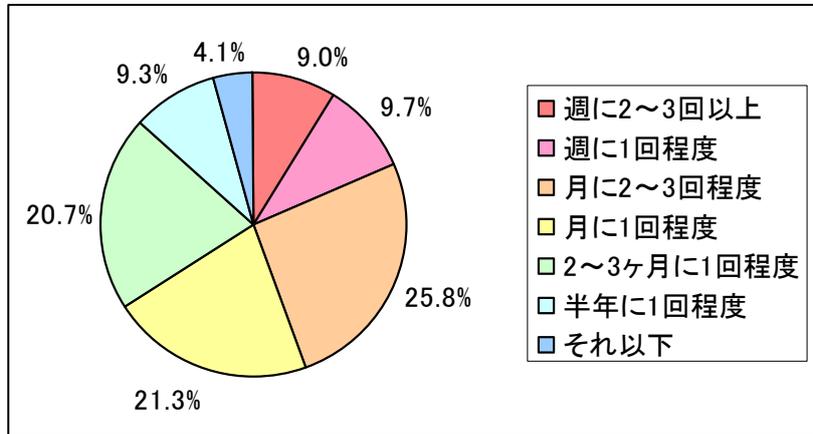
【ETC 車載機の購入先をお選びください】



ETCの利用頻度：「月に2～3回」が最多、日常的な利用はそれほど多くない

ETC サービス自体の利用頻度で、もっとも多かったのは、「月に2～3回」（25.8%）。それに続いて、「月に1回程度」（21.3%）、「2～3ヶ月に1回程度」と続く。多くの人が、週末ドライブあるいは月に1回あるかないかのドライブのみに ETC を利用していることがわかる。「週に1回以上」と答えたのは合計で 18.7%にとどまり、仕事など日常的に ETC を使っているユーザーはさほど多くないことがわかった。

【 ETC の利用頻度をお選びください。】

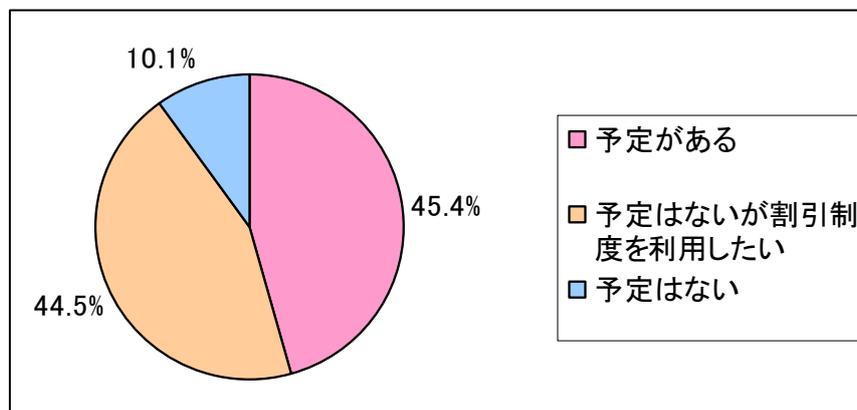


「ETC 割引」を使っのドライブ旅行：家族旅行などドライブの促進には一定の効果

3月末より開始された「ETC 割引」を利用して、今後ドライブ旅行などをするかどうかという問いに対しては、半数近くの 45.4%が「予定がある」と回答している。国内の高速道路が基本的には 1,000 円で乗り放題になるという「ETC 割引」は、家族旅行などドライブの促進には一定の効果を及ぼしているといえそうだ。

また、「予定はないが割引制度を利用したい」というユーザーも 44.5%おり、直近のゴールデンウィークなどでの旅行の予定はないものの、割引が予定されている 2 年間のうちに、どこかへドライブ旅行に行きたいと考えている人は多いようだ。

【今後 ETC 利用による高速道路料金の割引制度を利用し、自動車での旅行の予定はありますか？】



ETC 車載機を設置していない理由：「付けたくても付けられない」人が多数？

ETC 車載機を現在設置していない人の理由として、まず、「導入検討中」とした人の理由で多かったのは、「今申し込んでいるが、機械自体がない」「注文待ち」という回答。やはり、この3月に可決された「高速 1,000 円」の ETC 割引を受け、ETC を取り付けようとしたものの、急激な需要増加に在庫がなくなってしまい、「付けたくても付けられない」という待ちの状態にいる人がかなりの数に上るようだ。これまで ETC 車載器を付けなかった理由として、「ほとんど高速に乗らないから」という人が多いのも特徴的だが、さすがに 1,000 円という割引額を見て、この機会に ETC を導入しようと腰を上げた人が多いようだ。

また、「設置していない」と回答した人の理由は、大半が「ほとんど高速に乗らないから」というもの。年に1回程度しか高速道路を利用しないのに、取り付け込みで1万円以上かかる ETC 車載器を導入する気にはなれない、というのが大きな理由となっている。

ETC状況	コメント	性別	年齢
取り付けを検討している	在庫切れで入荷待ち状態。	男性	30代
取り付けを検討している	そろそろ購入しようかな、と思っていたら、助成金が開始されて、欲しいと思っていた車載器の在庫がなくなってきた&価格が急騰した、為。 元々、年に1~2回程度しか高速に乗らないのに、今の金額は高すぎてメリットが全くない。助成金が終了して、車載器の在庫が潤沢になって、価格が下がった頃に、改めて購入しようと思っている。	男性	30代
取り付けを検討している	今まであまり必要を感じていなかったから。でも割引制度が始まったので付けようと思っている。帰省するときかなり交通費が安くなるので、できるだけ早く設置したい。	女性	30代
設置していない	高速道路を利用する機会がない	女性	30代
設置していない	高速道路の利用率が極めて低いためと、遠出するときは、新幹線を利用するため。 ETCの設置は今のところ見送っています。	男性	30代

■総評 鎌田剛 カカコム メディアクリエイティブ部 部長

2009年3月4日に成立した「平成20年度第2次補正予算」に含まれる「高速道路料金の大幅引き下げ」により、一気に注目を集めた「ETC車載器」。ETC車載器搭載の自動車限定で、都市部を除く地方部の高速道路（普通車のみ）が、土日祝日に限り上限1,000円の乗り放題になるとあって、これまでETCに対してあまり必要性を感じていなかった層が、ETC車載器の導入に殺到したため、全国的にETC車載器が品薄になるなど、ちょっとした「ETC特需」なるものまで生まれたほどの盛り上がりを見せた。

そんな中、価格.comユーザーを対象にETCに関する調査を行ったが、「ETC」そのものが旬な話題だったこともあり、回答者数も1週間で1万人を軽く超えるなど、改めて現在のETCへの関心度の高さがうかがえた。今回の調査によると、ETCの導入率は全体で6割を超えたが、うち今年2009年に入ってからETCを導入したという割合が13.3%にも上った。わずか3か月程度で、昨年の半年分に当たるETC車載器が導入されたことになり、「ETC特需」の存在が裏付けられた結果となった。なお、「ETCを取り付けていない」と答えた人の多くが、「ETCの取り付けを検討しているが、ETC車載器の在庫がないため取り付けられない」という状況にあることもわかった。

その一方でETCサービスの利用頻度を聞いたところ、実は頻繁にETCを利用している人はそれほど多くなく、大半の人は週末のドライブや、月に1度行くか行かないかのドライブ旅行にしか利用していない現状も見えた。「ETC車載器を導入しない」と答えた人の最大の理由も、「高速道路をほとんど使わないから」というものだった。ただ、3月より実施されている「高速1,000円乗り放題」のETC割引を利用して、旅行などに出かけるかとの問いに対しては、多くの人が「行く予定がある」あるいは「利用してみたい」と答えており、ETC割引によるレジャー・観光などへの景気刺激は一定の効果がありそうだ。ドライブ先として人気なのは比較的近場の観光地で、東京近辺在住者なら伊豆や軽井沢、那須といった避暑地、関西地方在住者であれば、京都、神戸、和歌山、淡路島などが人気。また東京ディズニーリゾートは地域問わず人気がある。やや遠方になると、東北方面、長野方面、四国・九州といったあたりに人気が集まっている。

このゴールデンウィークは、これらの人気エリアに多くのドライバーが訪れることが予想される。高速道路が1,000円で乗り放題なのはありがたいが、道路渋滞もかなりのものが予想されるので、その点は充分覚悟してから出かけたほうがいだろう。

※フリーアンサーを含む詳細結果、および過去のリサーチアーカイブは以下URLをご参照ください
<http://kakaku.com/research/>

【価格.comについて】

パソコン、家電、カメラをはじめ、ブロードバンドや携帯料金プラン、自動車保険、生命保険など約3,699万点の商品・サービス情報を掲載。月間利用者は、約1,792万人（重複なし）蓄積されたクチコミは累計930万件を超える。（データは2009年3月末現在）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報担当 内山 甲斐 e-mail: pr@kakaku.com Tel:03-5805-7511